

2024年7月12日  
千葉大学医学部附属病院

## 千葉大学医学部・病院の創立150周年記念タイアップ企画 いすみ鉄道「メディカルトレイン」の運行がスタートしました

千葉大学病院(病院長：大鳥精司)といすみ鉄道株式会社(代表取締役社長：古竹孝一)は、千葉大学医学部および附属病院の創立150周年記念タイアップ企画として、ヘッドマークやラッピングを施した列車に乗りながら車内の掲示物で病院や医療について理解を深めることができる「メディカルトレイン」の運行を開始しました。7月11日(木)から8月31日(土)、大原―上総中野駅までの26.8kmを運行します。

千葉大学医学部と病院の歴史は、150年前の1874年7月、地域の人々がお金を出し合って作った共立病院が起源です。7月10日(水)午前、大多喜駅で行った出発式で、当院の大鳥病院長は、「高度医療はもちろんのこと、地域の皆さまの健康と笑顔を大切に、これからも医療の発展に努めてまいります」と挨拶。いすみ鉄道の古竹社長も、「鉄道で大事なのは、『つなげる、つなぐ』ことです。ともに成長していきたいです」と語りました。

7月10日の午後には、大多喜町でミニ健康講座を開催。当院総合診療科の上原孝紀医師が、総合診療医の紹介や病気のサインや予防方法について話したあと、いすみ医療センターに勤務する大多喜高校出身の磯野史朗医師(千葉大学名誉教授)が『健康な眠り：いびきは万病のもと!』と題して、睡眠時無呼吸症のリスクや最新の治療方法などについて話しました。

8月1日(木)からは、小湊鐵道でも15両の車両に150周年記念ロゴをヘッドマークに掲げて1週間運行します。



出発式を開催しました



千葉大学マスコットキャラクターのイノ



150年の歴史や医療まめ知識を車内で掲示



地元住民を対象に行ったミニ健康講座

<取材申し込み・お問い合わせ先>

千葉大学医学部附属病院 病院広報室 大嵩・丸山

Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830 E-mail : byoin-koho@chiba-u.jp